

令和5年度 香川縣市町住宅耐震化緊急促進アクションプログラム

1 目標		
<ul style="list-style-type: none"> <li>香川県及び県内各市町の耐震改修促進計画に定めた耐震化率の目標の達成に向け、住宅の耐震化を加速させるため、これまでの取組みに加え、よりのを絞った効果的な施策を複合的かつ積極的にすすめていく必要がある。</li> <li>そこで、本県では、行政・改修事業者・地域と一層連携を図りながら、【<b>県民が気軽に耐震改修を実施できる体制づくり</b>】【<b>「住宅の耐震化」の重要性を認識してもらうためのきっかけづくり</b>】【<b>耐震診断をした住宅を耐震改修工事に確実につなげるための仕組みづくり</b>】を、住宅の耐震化を強力に促進するための柱として位置付ける。</li> <li>この3本の柱を確立していくための取組みを、住宅耐震化緊急促進アクションプログラム(以下「アクションプログラム」という。)において位置付け、毎年度、進捗状況を把握・評価するとともに、アクションプログラムの充実・改善を図り、住宅の耐震化を強力に推進することを目的とする。</li> </ul>		
2 位置づけ		
<ul style="list-style-type: none"> <li>アクションプログラムは、県、市町の耐震改修促進計画に位置付けるものとする。</li> </ul>		
3 取組内容・目標・実績		
計画	令和5年度取組内容	令和5年度の目標
計画	<p>① <b>【県民が気軽に耐震改修を実施できる体制づくり】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>住宅所有者の個別のニーズや疑問にこたえる機会</li> <li>比較的安価に実施できる「低コスト工法」の普及</li> <li>行政職員の定期的な研修の実施</li> </ul> <p>② <b>【「住宅の耐震化」の重要性を認識してもらうためのきっかけづくり】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>在宅避難に着目した防災講座の展開</li> <li>地域に密着した多様な場での働きかけ</li> </ul> <p>③ <b>【耐震診断をした住宅を耐震改修工事に確実につなげるための仕組みづくり】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>行政からの診断実施者へのフォロー</li> <li>行政-建築士-改修事業者のネットワークを形成し、耐震化の相談から改修までを一連の事業ととらえる</li> </ul> <p>※各市町の取組みについては別紙1のとおり。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>木造住宅の耐震診断戸数 258 戸</li> <li>木造住宅の耐震改修戸数 140 戸</li> </ul>
		<p><b>前年度までの実績</b></p> <p>令和4年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>木造住宅の耐震診断戸数 175 戸</li> <li>木造住宅の耐震改修戸数 84 戸</li> </ul> <p>令和3年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>木造住宅の耐震診断戸数 206 戸</li> <li>木造住宅の耐震改修戸数 109 戸</li> </ul> <p>令和2年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>木造住宅の耐震診断戸数 155 戸</li> <li>木造住宅の耐震改修戸数 82 戸</li> </ul> <p>令和元年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>木造住宅の耐震診断戸数 246 戸</li> <li>木造住宅の耐震改修戸数 138 戸</li> </ul>
自己評価	前年度(令和4年度)取組実績	前年度(令和4年度)の評価と課題
自己評価	<p>①住宅所有者を対象とした、建築士による個別相談会や、事業者を対象とした、「低コスト工法」の習得等を目指す講習を実施した。</p> <p>②「在宅避難」に着目した防災講座を実施し、住宅の耐震化に関心の無かった県民の掘り起こしを行った。</p> <p>③地域別に、事業者を対象とした勉強会を開催。</p>	<p>別紙2のとおり。</p> <p><b>改善策</b></p> <p>①個別相談会や講習に、より多くの参加者を募るため、広報を工夫して行う。</p> <p>(県、市町毎は別紙2のとおり。)</p>